

くま小通信

第15号 令和4年11月28日

名古屋市立熊の前小学校

名古屋市緑区亀が岡一丁目901番地

TEL: 052-878-1600

http://www.kumanomae-e.nagoya-c.ed.jp



各記事と「学校教育目標」(第1号参照)の関連を、次のように文末に示しています。

(1) 基礎基本を身に付け、自ら学ぶ力を備えた子の育成 → 【①自ら学ぶ力】

(2) 思いやりの心・社会の一員としての自覚を備えた子の育成 → 【②思いやり・社会性】

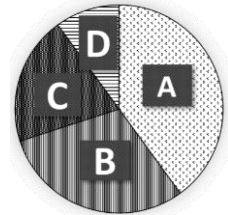
(3) 生涯にわたって健康に過ごすための心身を備えた子の育成 → 【③心身の健康】

学芸会保護者アンケート結果

学芸会保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました。皆さんからお寄せいただいた声をまとめましたので、お知らせいたします。

【グラフの見方】

アンケート結果を示しています(単位は%、小数点以下は四捨五入)。円グラフの上部から右回りに、A、B、C、Dの順に並んでいます。なお、**<いただいたご意見>**の○は成果と捉えられるもの、**白抜き数字**は今後の検討課題です。検討課題については、裏面で補足説明や今後の対応についてまとめてあります。

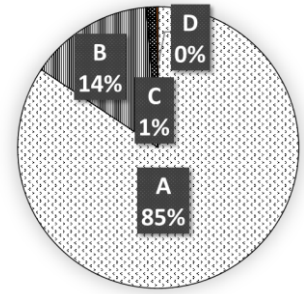


【問1】お子さんは、達成感や満足感を味わい、楽しく活動に取り組んでいた。

A: そう思う	85%	B: どちらかと言えばそう思う	14%
C: あまり思わない	1%	D: 思わない	0%

<いただいたご意見>

- 子どもが、いきいきと練習にのぞみ、本番を待ち望んでいました。緊張したけれど成功して満足していました。
- 「最後だからせりふの多い役に立候補してみた。」と、本人も意欲的に取り組んでいました。
- 学芸会で使う道具を自宅で懸命に作り、台本1冊まるごと覚えて聞かせてくれ、子どもが本当に学芸会を待ち望んでいるのだなと深く感じました。

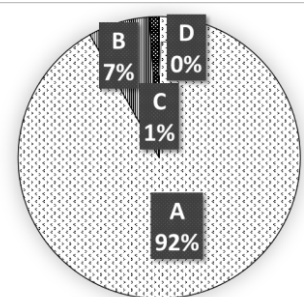


【問2】学芸会を実施したことは適切であった。

A: そう思う	92%	B: どちらかと言えばそう思う	7%
C: どちらかと言えば作品展がよかった	1%	D: 毎年作品展がよい	0%

<いただいたご意見>

- 学芸会を中止する学校が多い中、開催していただき子どもたちも楽しめたし親も子どもの成長を感じられ本当に良かったと思います。準備や練習時間確保と色々大変ですが次もぜひ開催してほしいです。
- 学芸会が廃止される流れの中、開催していただけたことはとてもありがたいと思います。時代で変化も大事ですが変わらず続けていくことも大切なのはとも思います。
- 学芸会を見せてくださって、感謝の気持ちでいっぱいです。子どもから、練習の様子や衣装の準備などたくさん聞きました。作品展は個々の作品を見られますが、学芸会はやはりひとつの作品をクラスみんなで作るもの。これをやり遂げたときの子どもたちの達成感は一生物の宝物になります。
- 半ば諦めかけていた学芸会が、台本を手にし、本当に開催できると実感したとき、娘と喜び合いました。人前で何かをすることが苦手な娘も、小学生最後の年にクラスの仲間と一つの作品を作り上げることに喜びを感じていました。



【問3】感染症対策は適切であった。

A: そう思う	82%	B: どちらかと言えばそう思う	16%
C: あまり思わない	2%	D: 思わない	0%

<いただいたご意見>

- クラスごとでの発表で座席も決まっていたため、混雑がなくてよかったです。全てがスムーズに計算されていたと思います。
- 学級ごとの発表は初めてでしたが、学級閉鎖が出る心配など考えると今回は正解だったと思います。
- 子どもたちがマスク着用をしている上、保護者席が遠く、子どもの顔が見えづらい、声が聞こえづらいこともありましたが、感染対策のことを考えると適切な対応だと思いました。

